



YUME いっぱい

よく考える子 しんせつな子 きたえる子

佐世保市立吉井北小学校

学校通信 3号

R02.05.08 (金)

文責 校長 堤 祐子



あと1週間のがまんです

本日の登校日、久しぶりに校内が子どもたちの歓声と笑顔で溢れました。学校に子どもがいること、そんな当たり前のことが愛おしくて感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちも同じなのでしょう。全員出席！笑顔には友達と会えたうれしさが溢れていました。休業中、様々なご苦勞があったことと思いますが、子どもたちを支えてくださったご家族の皆様、地域の皆様に心から感謝いたします。

さて、コロナ等感染症対策の臨時休業もあと1週間で終了、18日(月)にはいよいよ平常通りの学校教育活動を再開する予定です。勿論、再開にあたっては、3密を避けるためのルールや共通理解をしながら、当面はこれまで通り行えない活動もあり、工夫が必要です。詳しくは、学年だより等でお伝えしていきます。

あと1週間の臨時休業延長。ご家庭のほうでも、子どもたちも更に疲労がたまっているころと思います。学習ももちろん大切ですが、健康を優先して柔軟にご対応ください。学校では次のように考えています。

○ 「自己学習力」を高めるチャンスとしましょう

本日お配りした各学年の課題には、発達段階に応じた「週計画表」が含まれています。与えられたプリントだけをやみくもにこなすだけではなく、「自分はどんな勉強をしたら力を伸ばせるか」「自分はどんな勉強が好きか」自分に問いながら、個人に応じた学習計画が作成できればと思います。

○ 予習を取り入れています

昨年度の未履修内容に加え、今年度更なる臨時休業により、授業時間はかなり厳しい状況です。学年の発達段階に応じて、予習的な内容も取り入れています。

良かったことも、苦しかったことも、将来につながる経験

この休業中、いろんな経験をした子どもたちも、反対に家でじっと我慢して過ごした子どもたちも、それぞれ多いことと思います。しかし、この経験はきっと子どもたちのこれからにつながっていくことでしょう。何か好きなことを見つけたり打ち込んだりした子どもは、ひょっとしたら将来の夢に繋がるかもしれません。反対に何もできなかった子どもたちも、学校で友達や先生たちに学ぶありがたさに気づき、学校生活がより充実していくことでしょう。それぞれに意味がある期間なのかもしれません。

本日の貴重な登校日のために、先生たちはそれぞれに工夫をして課題を準備したり、協力して畑を耕して種を植える準備をしたり、少しでも子どもたちのためになるようにとがんばっています。子どもたちを迎えるために、教室や廊下の環境も整えました。

また、18日から通常登校になるものの、授業日数は足りません。少しでも効果的に授業を進めようと教材の準備を進めています。

子どもも、大人も、困った今だからからこそ、知恵を絞って何とか対応しようと努力しています。これもまた、必ず今後につながる貴重な経験となることでしょう。



マスクが届きました

文科省から送られたマスクを、本日一人一人に配布しています。同じものですから、間違わないようにと事務補助の井手さんが名前シールを付けてくれました。大事に使って、ウィルスから身を守ってくださいね。